

令和3年度 自己評価

評価項目1 教育課程・指導

(1) 方針1

園生活を通して、好奇心や探求心をふくらませ、発見する喜びを知り、発想や表現の豊かさを身につけ、他者を認め尊ぶ大きな心を育む。

対応及び反省

事前、またその過程において話し合いを十分に持ち、教員の情報共有と確認を徹底する。活動後、多角的に評価し反省点を改善する。常にスキルを高める意識を持つ。

感染症の予防対策が優先される中、本年も、例年と違う環境を嘆くより、できることを発見し、喜び、工夫し、急がず丁寧に取り組む姿勢を維持しながら、課程を修了することに努めた。本来とは異なる形での取り組みになることや、止むを得ず中止になることにより、教育の本質が損なわれたとは考えておらず、当園の伝統を大事にしつつも固執することなく、一人一人に注目し対応する、原点回帰の教育を模索した。

評価；A

(2) 方針2

表現教育を実践する中で、子ども自身で気づき、感じ、目的意識を持ち、達成のための努力と周囲への協力を惜しまない、責任感を伴った能動的な心を育む。

対応及び反省

日々の保育や行事への取り組みにおいて、子ども一人一人の心身の発達の状態を見極め、適切な指導をするよう情報共有を徹底する。更に、状況に柔軟に対応し、最善の方策を模索し実現に向け努力する。それぞれの可能性と負荷のかからない実現性に考慮、実践に努めた。特に個人差のある中で、個々の成長を見極めることに苦慮しつつも、他機関との情報共有のあり方等、課題を一步進めることができた。

評価；A

(3) 方針3

保護者と連携して情報を共有し、協議する関係を確立し、子どもの成長のために最善の方策を追求する。

対応及び反省

引き続き、例会や役員会、個人面談等において、共通の理解や認識を持つべく、説明、意見交換等を行い、様々な機会を活用する。相互理解にたどり着くべく何度でも対話する。

評価；A

評価項目 2 安全・保育管理

(1) つばみ幼稚園学校安全計画の遂行

対応及び反省

計画通りとはならなかったものの、結果的に準拠した。教員のスキルアップ、時事の情報把握等については、引き続きレベルアップを目指す。

来年度は、悪天候により実現性の低い計画を見直し、様々な事態を想定した中での最善策を考えていきたい。また、園内消火訓練等、保護者対象の訓練を実現させたい。

評価 ; B

評価項目 3 組織運営

(1) 職員体制

対応及び反省

園長職が空席、引き続き副園長が兼務した。実際には正規ではないものの、次期園長を現園長として認識することで、子どもにとっては格段の不足はないと見受けられる。

正規教員とパート職員との連携は、優良だと考える。年度終盤の、止むを得ず担任を交代する事態においての連携はスムーズであり、起こり得る問題にも最小限の対応で、保護者の理解を得られた。

評価 ; A

(2) 研修

対応及び反省

長期休業や保育のない時間を縫って研修に参加していたところ、近年は教員の連携によりキャリアアップ研修にも積極的に参加する体制がとれるようになり、教員のスキルアップを目指していた。そんな中、今年も多く研修が見送られ、又はリモートに置き換えられた。実際に臨席して得られるものの価値を再認識しつつも、状況が好転し参加できる機会を待ち望むといった現状である。また、今後はリモートによる講義が増加すると見込まれ、積極的に参加するべく方向転換するのも現実的かと考える。

評価 ; B

(1) 保護者との連携

対応及び反省

連携は良好と思われ、例会、個人面談、役員会を活用して、引き続き保護者と連携をとる。

評価 ; A

(2) 地域住民との連携

対応及び反省

運動会の練習時、隣接した町会と連絡、協力を得られ感謝している。地域の一般の住民との連携は未だ希薄であり、改善策を実行できる機会がなかった。関係の構築方法については引き続き模索していきたい。

未就園家庭としては、市と園長会共催の幼稚園フェアや、未就園児家庭と繋がる催しが中止になるなど、状況は厳しかったが、機会を得たら活用していきたい。

評価；B

評価項目 5 子育て支援

(1) 幼稚園型預かり保育

対応及び反省

定額利用者は11時間開所の体制を整えてはいるが、母親のフルタイム就労者数が少ないこともあってわずかである。一時利用は、ステイホームの意識が定着したためか、希望自体が少なめであった。保護者会等ではほぼ全員が利用している。

朝の預かり保育は一部需要があり、必要時の利用に対応した。

評価；A

(2) 一般型預かり保育

対応及び反省

非在園児の預かり保育は、未就園児では弟妹等、縁故関係者に限られ少数だが需要があり、人員配置等、工夫して対応した。感染症予防の観点からか利用を遠慮する傾向が見られた。

小学生の預かりに、しばしば対応した。

評価；A

(3) 未就園児（2歳児）クラス、ひよこ組

対応及び反省

ひよこ組会員が入園する、しないに関わらず2歳児の保育は大事に考えたい。周知等に引き続き課題があるが、定数近くの利用があり、多くが入園を希望した。

評価；A

(4) 未就園児家庭に対する取り組み

「せんせいとあそぼ!」「園庭開放、プール開放」「幼稚園体験会」「ひよこぐみ体験会」

対応及び反省

「せんせいとあそぼ!」は開催日がまん延防止措置中で希望者がほとんどなく、中止に至った。月が進むにつれ、園庭開放の参加者数が増加していった。幼稚園体験会は、ほぼ例年通りの形で開催した。2歳児の発達や、次期就園家庭の子育て支援を考慮し、来年度も実施を考えている。プール開放は予約制で利用者数と時間に制限を設けた中、行った。

評価 ; B

評価項目 6 環境設備

(1) 園内設備

対応及び反省

建築法上の遵法性が実現された。
老朽化した正門の取り換えが実現した。同じく、老朽化した一部園庭遊具の取り換えを行った。

評価 ; A

評価項目 7 情報提供

(1) 個人情報

対応及び反省

個人情報については、引き続き注意を払い対応する。

評価 ; A

(2) 幼稚園に関する様々な情報

対応及び反省

引き続き、関係者において情報を公開し、幼稚園運営における透明性の維持を図る。
設置者変更の手続きに向け、事務が整い、都の認可を待っているが至っておらず、都による認可判断が待ち望まれる。

評価 ; B